

平成25年度 二宮町ごみ減量化推進協議会 会議録

日 時：平成25年10月23日(水)

午後3時00分～午後4時30分

場 所：二宮町役場2階 公室

出席者：平田委員 / 工藤委員 / 浅田委員 / 大矢委員 / 山田委員 / 西川委員
長尾町民生活部長

事務局：筑紫生活環境課長 / 須田生活環境班長 / 雨宮主事補

傍聴者：なし

1. 開会

会長よりあいさつ

2. 議題

- (1) 地域説明会結果報告について
- (2) 粗大ごみ等の有料収集について
- (3) ごみ収集日の変更について
- (4) その他

会長より議事進行

- (1) 地域説明会結果報告について
『地域説明会結果報告について説明』

【質問・意見等】

委 員：説明は大変良かったです。大神地区のことについて触れられたことは、これまでの経緯を知ることができ、もっと公表して皆で力を出し合っていると良いと思いました。説明会のアンケート結果についてですが、二宮町指定ごみ袋の価格につきましては、妥当な価格だと思いますが、平塚市・大磯町の価格との整合性を勘案しながら工夫してもらいたいです。二宮町指定ごみ袋のサイズについて、50の袋を作って頂くことを検討してほしいです。水分ひと絞りについてですが、広報やHPで何度も掲載した方が良いです。また、こちらからお知らせするばかりでなくて、町民参加型という形でもって町民の皆さんからひと絞りについてのアイデアを募集し、広報紙の中に載せていくと良いと思います。例えば、三角コーナーは置かない、ごみは乾かしてから捨てるといったことを、絵入りで説明してあ

げたり、買い物については無駄な物は買わない等、やってみようと思わせるような手立てが必要です。生ごみの水切りをするのに、素手は嫌だと言う方は、ペットボトルや CD、マヨネーズの容器でも絞る事ができますので、それを周知してみてもはどうでしょうか。また、ダンボールコンポストのモニターを募集してみたり、差し上げます（無料）・譲ります（有料）・譲ってくださいコーナーのような不用品を再利用できる仕組みがあると良いと思います。文言についてですが、こうすると良いと曖昧に言うよりも、はっきりこうしてくださいと分かりやすく言った方が良いです。

委員：ごみ袋は 30ℓや 45ℓの使用が多く、5ℓは必要ないのではないのでしょうか。

会長：私は、20ℓのごみ袋を使っているが、毎回出すわけではなくて、少ない時は出しません。5ℓというと、毎回出すことが前提になると思います。

事務局：今後、分別の変更に伴って、若干可燃ごみに入る物が増える可能性があり、その場合 5ℓの袋で対応できるのかというような懸念もありますので、検討していきたいと思います。

委員：夏場はどうしても水分が多くなりますね。

事務局：説明会の中でも、ご高齢で絞るのに手に力が入らない場合は、一晩置いておくだけでも水を切ることができますと説明してきました。

委員：これからはごみにもっとお金が掛かっていくと思います。だから意識改革で言うのであれば、ごみ袋の価格を上げることが必要だと思います。価格を上げたことによって苦情が来るかもしれませんが、意識は変わると思います。

会長：ごみに 1 人年間どれくらいのお金を使っており、他の自治体もごみ袋の価格はこれくらいで設定しているということを、具体的に説明するのであれば、どこかの節目でごみ袋の価格変更をやっても良いのではないのでしょうか。

事務局：今回のアンケートでは、他の市町村と比べて安いか高いか聞いたものではありませんでした。他と比べると安いという意識を持ってもらうには、そのような聞き方も必要なのかもしれません。

会長：地区によっては、1,000 世帯以上ありながら十数人の出席しかない地域もあります。これからは、開催したから良いではなくて、参加人数を増やす工夫が必要です。

（2）粗大ごみ等の有料収集について

『粗大ごみ等の有料収集について説明』

【質問・意見等】

委員：町として価格設定については、どのくらいと考えていますか。

事務局：広域化に伴う内容ですので、大磯町や平塚市の価格設定をあまりにも逸脱することがないように、粗大ごみについては 500 円。特別粗大ごみについては 2 枚貼って

1,000円といった内容の提案ですが、近隣の状況を見た中で判断しようと考えています。

会 長：周囲の自治体では、先行して様々なケースで実績を積んでいます。それを十分に把握し検討した上で、提案されていることですか？

事務局：はい。

会 長：問題点・課題等は把握できていますか。

事務局：1市2町の広域でやっていますので、平塚市・大磯町に聞きながら進めています。定義について曖昧な面もあり、そういった所が難しいです。ある程度、品目を指定すると分かりやすいのではと思っています。

会 長：気を付けなくてはいけないのは、長さの定義等の理由や処理先の都合等の説明をしっかりとなくてはなりません。

(3) ごみ収集日の変更について

『ごみ収集日の変更について説明』

【質問・意見等】

委 員：現在、剪定枝と毎日出るごみは一緒だが、剪定枝の量が多く毎日出るごみが追いつかれない事が多いので、剪定枝と可燃ごみを別の日にしてほしいです。

事務局：草・落ち葉は、分別の変更によって可燃ごみで出すようになります。可燃ごみは出す回数が多いので、剪定枝と一緒に出しても今までのように多くなる事はなく、なると思います。

委 員：二宮は他の自治体と比べるとごみ置き場が多いです。広域化に伴ってごみ置き場を圧縮できないですか？

事務局：難しい所です。他の場所に出されていた分のごみが、家の前に集まってきちゃうと、その家の方としては不満が出てしまいます。広域化に伴ってサービスが低下してしまうと、何の為の広域化なのかとなってしまいます。

会 長：二宮は他の自治体よりも優遇されていることを理解していないで、当たり前と思っていることが問題なのかもしれません。

委 員：落ち葉はこれからも乾燥させる必要がありますか？

事務局：今後は可燃ごみに回るので、極力乾燥させてからお願いします。

委 員：2、3日乾燥させてからだと、全然違います。

会 長：ごみの出し方に多少戸惑いはあるかもしれませんが、収集の回数はむしろ増える等、今よりは住民としては不便になることはないですよ。収集予定を1ヶ月の内に全部当てはめるのはパズルのように難しく、私達が口を挟むことは中々できません。

事務局：ビンの収集が大変です。一遍に出されると収集が追いつきません。

委員：この案でもいけるかどうか。平塚まで運ばなければいけず、道路事情等もありますので、非常に手さぐりな部分だと思います。

事務局：二宮町はごみ置き場にスペースがなくコンテナを置いていないので、ビンは袋に入れて出さないといけません。そうすると、収集の時に袋から出して持つて行くのか、集めてから全部袋から出して持つていくのかになります。

会長：収集する立場からの意見も聞きながら検討しているのですか？

事務局：はい。

委員：袋から出しながらの収集だと、通常の収集より倍以上時間が掛かります。剪定枝だと、そのままぱっと開けられますが、ビンだとそうはいかないです。

事務局：その辺はどういった手法があるのか、現在のシステムの中でのなるべく変更をかけないでできる方向を検討していきます。

委員：ごみの分け方・出し方ガイドについても当然変わってくるわけですよね？

事務局：現在 16 ページですが、入りきらないためページ数を増やす予定です。また、どこが変更したか示す別冊を作成する予定です。

(4) その他

事務局：第 3 回の予定ですが、来年度の地域説明会の内容に加えて、粗大ごみシール券の価格をどうしていくのかといった所等も審議していきます。2 月くらいに開催させていただきたいです。

【質問・意見等】

会長：その際には、ガイドについてはもう少し練った物が提案されるということですか？

事務局：完成版まで行けるか分からないですけど、ある程度の見込みは作っていききたいなとは思っています。

会長：内容は今年度中に決めて、4 月早々に印刷に入るのですか？

事務局：いえ、まず案の段階で 1 回目の地域説明会を回らしていただき、表示の間違い等変更がどうしてもあった際には修正を加え、2 回目の地域説明会の時は印刷版を持つて行きます。

委員：500 何人かで地域の老人会は集まっているようですから、そういう所を狙って行くのも 1 つの方法かと思います。

会長：できるだけ地区長等の意見も取り入れて、たくさんの方が集まるにはどういう工夫をしたらいいのかという所を、良くすり合わせしてもらった方が良いです。

事務局：分かりました。

会長：以上で会議を終了します。